

毎日、目まぐるしい勤務を遂行しているスタッフに今月も感謝しています。

「健康」は、何ものにも代え難い財産です。

ヘルスリテラシーを高めて、幸せな日々を送っていただけるよう願っています。

■今月のメッセージは、1月28日に、**窪内真己子看護師**が、フォローアップ研修の講師として、高知県立大学で講演しました。内容も分かりやすく、進め方もとても良かったです。

特に、心に響いたのは私が日頃大切にしている内容が多くあり、改めて学ばせて頂きました。

■私が共感した窪内さんからのメッセージの一部を今回ご紹介させていただきます。

①

## 在宅におけるACPと看取り支援 エンゼルケア


愛が鍾まる株式会社 てのひら訪問看護リハビリステーション

公益社団法人日本看護協会認定 緩和ケア特定認定看護師  
一般社団法人日本スピリチュアルケア学会認定 指導スピリチュアルケア師

窪内 真己子

②

## ケアの根源とは？



- ・看護とは何か？
- ・看護師の役割とは何か？
- ・何のために看護をするのか？
- ・自分は何のために生きているのか？
- ・死とは何か？
- ・死後の世界はあるのか？

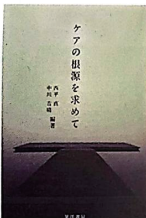
自分はどう生きていくのか

③

## ケアの根源を求めて

西平 直

無心に耳を傾ける



知識やテクニックを学びながら、それらと並行して、「知識やテクニックに頼るのではない、無心になって患者と向き合う」訓練を重ねる必要がある


自分がケアしてもらったら「やさしい先生」がいい  
気持ちが沈んでいるときは「やさしい先生」がいい

「最後は、無心になって患者と向き合うことができるかどうか、それが鍵になる」

2023/1/28 在宅におけるACPと看取り支援エンゼルケア 31

④

## 医療者（看護師）は何かをしてあげたいくなる



自分の無力さを知ることの大切さ  
最期は傍らにいたいけれどできない＝それしかできないことがケア  
黙ってそこに居られるかどうか

『質問する側が勝手に物語を作ってしまうんです。下手な人ほどそうです。「三日前から学校に行ってません」と言うと、「三日か。少したね。頑張れば行ける」とか。これから百年休むつもりかもわからないのにね（笑）人間というのは物事を理解できると安定するんです。（中略）理解不能のことというのは、人間を不安にするんです。そういう時下手な人ほど自分が早く理解して安心したいんです。  
相手を置き去りにして、了解するんです。それで「～」とか勝手なことを言う。相談している人は、自分の世界とは違うことが起こっているから、ますます無口になります』

「生きるとは、自分の物語を作ること」小川洋子・河合隼雄著

2023/1/28 在宅におけるACPと看取り支援エンゼルケア 36

④は、私が尊敬している故河合隼雄先生の言葉の抜粋されている部分に感銘を受けました。

大人、子どもたちの持っているエンパワーメントを「信じて待つ」ことが幸せにつながると思っています。

私が活動している「チャイルドライン」でも毎回、寄り添うことの意味を学んでいます。

訪問看護もチャイルドラインもまさに人間学、人生勉強だと思っています。

■最後に、スタッフKさんの資料の中で＜自身が患った病気、病人を経験して＞のコメントに心惹かれました。

- ・自分は患者に寄り添いたいと思っていた
- ・自分は患者に寄り添えていると思っていた
- ・自分は患者の気持ちをわかっていなかった
- ・気持ちを理解できないことを理解すること
- ・それでもそばに居つづけることの意味

謙虚でとても深いメッセージですね。みなさんにも届きますように…

Kさん、引用させて頂きましてありがとうございました。



■今月は、悪天候の中でも、調整しながらの勤務お疲れ様でした。ありがとうございます。

2023年2月10日 呉静恵

